

6 章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

6章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

1. 適用

陸上での鋼製橋脚設置工事に適用する。

2. 数量算出項目

鋼製橋脚の基数と架設鋼材質量、地組鋼材質量、現場溶接延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	3次元モデル	属性情報			
			規格	単位	数量	備考
アンカーフレーム架設	Ⅱ	×	基			
アンカーフレームグラウト注入	Ⅰ	○	m ³			
鋼製橋脚地組	Ⅰ	×	t			
鋼製橋脚地組連結	Ⅱ	×	箇所			
鋼製橋脚架設	Ⅰ	×	T			
鋼製橋脚架設ブロック	Ⅱ	×	ブロック			
鋼製橋脚	Ⅱ	×	脚			
鋼製橋脚無収縮モルタル注入	Ⅰ	○	m ³			
現場溶接	Ⅱ	×	m		平均板厚 t=mm	
ビード仕上げ	Ⅱ	×	m			
トルシアボルト	Ⅱ	○	本			
足場	B	×	掛m ²			

3次元モデルによる数量算出方法は、鋼構造およびコンクリート構造を参考とする

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) アンカーフレームモルタル注入量はアンカーフレーム1基ごとに算出する。
- (2) 鋼製橋脚無収縮モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (3) 現場溶接はビード仕上げの有無に関わらず総延長を算出する。
- (4) ビード仕上げは必要な場合のみ算出するものとし、総延長を算出する。
- (5) 足場

足場は「第1編（共通編）1.1章仮設工1.1.4足場工」によるものとする。

- 1) 足場面積の算出は、下記のとおりとする。なお現場条件、橋脚の構造および施工方法等でこれによりがたい場合は、別途算出するものとする。

